

令和4年度
(2022年度)

学生募集要項

(一般選抜)



令和3年12月
琉球大学

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施方法等に変更が生じた際には、本学ホームページにて情報を速やかにお知らせします。

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事 項	問い合わせ先	電 話 番 号
大学入学共通テストに関すること	大学入試センター 事業第一課	03-3465-8600
インターネット出願システムに関すること	志願受付操作サポート窓口	0120-752-257
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098-895-8141 098-895-8142
	人文社会学部学務係	098-895-9056
	国際地域創造学部学務係	098-895-8184
	教育学部学務係	098-895-9030
	理学部学務係	098-895-8595
	上原キャンパス事務部学務 課入試・学事係（医学部）	098-895-1032
	工学部学務係	098-895-8583
	農学部学務係	098-895-8738
入学料、授業料の <u>納付</u> に関すること (詳しくは47ページをご覧ください。)	財務部経理課収入・支出係	098-895-8058
入学料、授業料の <u>免除</u> に関すること (詳しくは47ページをご覧ください。)	学生部学生支援課学生援護係	098-895-8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	098-895-8136
受験時の合理的配慮等に関すること (詳しくは43ページをご覧ください。)	障がい学生支援室	098-895-8750
新型コロナウイルス感染症に関すること	学生部入試課	8141 098-895-8158 8018

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（祝日・休日を除く）8：30～17：15
 （障がい学生支援室 9：30～17：15）

※お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

※各選抜区分について、以下のとおり略記することがあります。

大学入学共通テスト⇒「共通テスト」
 一般選抜⇒「一般」

目 次

1. 琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 入学者選抜方法	2
3. 試験日程等	2
4. 出願資格	2
5. 募集人員	3
「募集人員」の留意事項	4
6. 実施教科・科目等	7
大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等及び配点	9
7. 実技検査等実施方法（教育学部）	22
8. 個別学力検査等の試験日時及び試験場	27
（1）前期日程	27
（2）後期日程	30
9. 出願手続	32
10. 出願書類等	34
11. 出願に関する取扱い	37
12. 入学検定料の払込について	39
13. プログラム・コース等への配属について	41
14. 受験時における合理的配慮等について	43
15. 受験に関する注意事項	43
16. 合格発表	46
17. 追加合格	46
18. 入学手続	46
19. 追試験について	48
20. 個人情報の利用等について	49
21. 入試情報開示に関する事項	50
◎参考情報	58

○出願書類等一覧

出願書類等の記入上の注意

1. 琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

平成29年2月9日
制 定

（1）琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- （1）豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
- （2）優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
- （3）外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
- （4）地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

（2）求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- （1）高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- （2）異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- （3）自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

（3）入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な入試方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については，本学ホームページの「各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」
(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/>)
をご覧ください。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書の内容、本学が実施する個別学力検査・実技検査・小論文・面接・口頭試問その他の能力・適性等に関する検査の成績、その他本学が適当と認める資料により、総合的に判定して行います。

3. 試験日程等

事 項	前 期 日 程	後 期 日 程
インターネット出願 登録可能期間	1月17日(月)～2月4日(金) <u>17:00</u> まで ※インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に願書類等を提出することが必要です。	
入学願書受付期間 (出願書類受付期間)	1月24日(月)～2月4日(金) <u>17:00</u> 必着 <u>(消印有効ではありません)</u>	
試 験 日	2月25日(金)・26日(土)	3月12日(土)
	追試験日: 3月22日(火) (前期日程・後期日程) ※追試験の詳細は、「19. 追試験について」を参照してください。	
合 格 発 表	3月6日(日) 15:00頃	3月20日(日) 15:00頃
	追試験合格発表: 3月26日(土) 15:00頃	
入 学 手 続	3月14日(月)・15日(火)	3月25日(金)・26日(土)
	追試験合格者の入学手続: 3月27日(日)	

募集人員に満たない場合

追 加 合 格 手 続	3月28日(月)～31日(木)
-------------	-----------------

4. 出願資格

本学に入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和4年度大学入学共通テストで本学の各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和4年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者(詳細については、大学入試センターから発行された「令和4年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内」の出願の項を参照してください)。
- (4) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者

5. 募集人員

学部	学科・課程・(選抜方式)等		入学定員(名)	募集人員(名)										
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人		
				分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す					
				前期日程	後期日程									
人文社会学部	国際法政学科		80	54	14				12		若干名	若干名		
	人間社会学科	哲学・教育学プログラム	80	41	18				5		若干名	若干名		
		心理学プログラム							8					
		社会学プログラム							8					
	琉球アジア文化学科		40	25	9				6		若干名	若干名		
計		200	120	41				39						
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265	60	15			50		若干名	若干名		
			(論理的思考系)	90	20									
			(数学的思考系)	30										
	夜間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80	20	5			13	10				
			(論理的思考系)	24	8									
計		345	224	48				63		10				
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻	140	25				5					
			教科教育専攻						10					
			国語教育専修						2					
			社会科教育専修						2					
			数学教育専修						2					
			理科教育専修						2					
			音楽教育専修						2					
			美術教育専修						2					
			保健体育専修						2					
			技術教育専修						2					
			生活科学教育専修						2					
			英語教育専修						2					
			中学校教育コース						教科教育専攻				4	
	国語教育専修	3												
	社会科教育専修	5												
	数学教育専修	5												
	理科教育専修	3												
	音楽教育専修	3										若干名		
	美術教育専修	3												
	保健体育専修	3												
技術教育専修	2						1				若干名			
生活科学教育専修	3													
英語教育専修	2													
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	8												
特別支援教育専修	2						1 英語重視							
計		140	101		5		2	32						
理学部	数理科学科		40	30	10							若干名		
	物質地球科学科	物理系	65	28	7			5			若干名	若干名		
		地学系	19	3				3			若干名	若干名		
	海洋自然科学科	化学系	95	27	10			10			若干名	若干名		
		生物系	37	10				1			若干名	若干名		
計		200	141	40			19							
医学部	医学科		112	70	25				17					
	保健学科		60	41	10				9		若干名	若干名		
	計		172	111	35				26					
工学部	工学科	機械工学コース	350	206	40				6			11	若干名	若干名
		エネルギー環境工学コース							10			7	若干名	若干名
		電気システム工学コース							2			9	若干名	若干名
		電子情報通信コース							4			7	若干名	若干名
		社会基盤デザインコース							5			10	若干名	若干名
		建築学コース							2			10	若干名	若干名
		知能情報コース							7			14	若干名	若干名
		計							350			206	40	36
農学部	亜熱帯地域農学科		35	22	5		3	5			若干名	若干名		
	亜熱帯農林環境科学科		35	22	5		3	5			若干名	若干名		
	地域農業工学科		25	16	2		2	5			若干名	若干名		
	亜熱帯生物資源科学科		45	23	4			2	6			若干名	若干名	
	健康栄養科学コース													8
計		140	91	16			12	21						
合計			1,547	994	220	41	12	86	184	10				

「募集人員」の留意事項

(1) 人文社会学部

- ① 人文社会学部では、各学科単位で募集を行い、1年次の間は合格した学科に配属されます。
1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき、2年次前学期から各プログラムに配属されます。（プログラムへの配属等についての詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」参照）
- ② 人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱでは、プログラム単位で募集します。この選抜で入学した学生は、2年次前学期から合格したプログラムに配属されます。
- ③ 学校推薦型選抜Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜の募集人員を含みます。
- ⑤ 後期日程の募集人員には、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

(2) 国際地域創造学部

- ① 学校推薦型選抜Ⅰの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程（それぞれ対応する昼間主コース・夜間主コース）の論理的思考系の募集人員に加えます。
- ② 社会人特別選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を後期日程（夜間主コース）の論理的思考系の募集人員に加えます。
- ③ 前期日程（昼間主コース）の国際的思考系の募集人員には、帰国生徒特別選抜の募集人員（若干名）を含みません。
- ④ 前期日程（昼間主コース）の国際的思考系の募集人員には、私費外国人留学生特別選抜の募集人員（若干名）を含みます。
- ⑤ 国際地域創造学科（昼間主コース）は、学科一括で募集します。また、一般選抜は、学科一括で募集を行いますが、選抜方式毎に募集人員を設けています（前期日程は、国際的思考系、論理的思考系、数学的思考系の3方式。後期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式）。どの選抜区分、選抜方式で合格し入学しても、入学後は2年次前学期を修了した時点で、本人の希望と3箇学期（2年次前学期まで）の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムへの配属等についての詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」参照）
- ⑥ 国際地域創造学科（夜間主コース）は、学科一括で募集します。また、一般選抜は、学科一括で募集を行いますが、選抜方式毎に募集人員を設けています（前期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式。後期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式）。どの選抜区分、選抜方式で合格し入学しても、入学後は1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と2箇学期（1年次後学期まで）の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムへの配属等についての詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」参照）

(3) 教育学部

- ① 学校教育教員養成課程の一般選抜については前期日程のみの選抜です。
- ② 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般選抜は、学校教育専攻一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。（専修配属・所属についての詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」参照）
- ③ 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の学校推薦型選抜は、学校教育専攻一括で行います。合格者は学校教育専攻に所属します。

- ④ 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般選抜は、教科教育専攻一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。
(専修配属・所属についての詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」参照)
- ⑤ 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の学校推薦型選抜の選抜は、専修毎に募集します。合格者は志望専修に所属します。
- ⑥ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻の一般選抜は、各専修単位で募集を行い、1年次から合格した専修に所属します。
- ⑦ 総合型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ⑧ 学校推薦型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ⑨ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻（美術教育専修）の前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜の募集人員を含みます。
- ⑩ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻（技術教育専修）の前期日程の募集人員には、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

(4) 理学部

- ① 物質地球科学科は、物理系（40名）と地学系（25名）に分け、海洋自然科学科は、化学系（47名）と生物系（48名）に分けて、それぞれ募集します。また、2年次に進級する際に他の系へ進路変更の希望があれば、各系（物理系、地学系、化学系、生物系）とも3名以内に限り、選考の上、受入れが可能です（一般選抜入学者を対象とする）。
- ② 学校推薦型選抜Ⅱには物質地球科学科の物理系と地学系、海洋自然科学科の化学系と生物系があり、募集人員は物理系が5名、地学系が3名、化学系が10名、生物系が1名です。
- ③ 学校推薦型選抜Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 物質地球科学科（物理系）、海洋自然科学科（化学系・生物系）の前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜の募集人員を含みます。
- ⑤ 物質地球科学科（地学系）の後期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜の募集人員を含みます。
- ⑥ 各学科の後期日程の募集人員には、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

(5) 医学部

- ① 医学科では、学校推薦型選抜Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 保健学科の学校推薦型選抜Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ③ 保健学科の前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。
- ④ 保健学科では、入学後、看護学コース、検査技術学コースの2つのコースに分かれます。なお、看護学コースの学生は、2年次以降に、保健師（15名程度）、または助産師（6名程度）もしくは養護教諭（10名程度）の免許取得のためのカリキュラムをいずれか1つ選択することができます。選抜にあたっては、入学後の成績等を考慮します。

(6) 工学部

- ① 総合型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 後期日程の募集人員には、社会人特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。
- ③ 一般選抜は工学科一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合得点の上位から順に、工学科として合格者を決定し、その上で、志望に沿って合格者を各コースに配属します。（詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」参照）
- ④ 特別選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜）はコース毎に行います。合格者は志望コースに配属されます。

(7) 農学部

- ① 亜熱帯地域農学科では学校推薦型選抜Ⅰ（農業に関する学科から3名、その他の学科から2名、合計5名）を実施します。
- ② 亜熱帯農林環境科学科では学校推薦型選抜Ⅰ（農業に関する学科から3名、その他の学科から2名、合計5名）を実施します。
- ③ 地域農業工学科では学校推薦型選抜Ⅰ（農業に関する学科から2名、その他の学科から3名、合計5名）を実施します。
- ④ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）では学校推薦型選抜Ⅰ（農業に関する学科から3名、その他の学科から3名、合計6名）を実施します。
- ⑤ 亜熱帯地域農学科、亜熱帯農林環境科学科、地域農業工学科、亜熱帯生物資源科学科、亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コースでは総合型選抜Ⅱ（計12名）を実施します。
- ⑥ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）は、卒業までの教育課程に沿って、1年次からコース教育が実施されるため、他コースからの転コースはできません。
- ⑦ 学校推薦型選抜Ⅰの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ⑧ 総合型選抜Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ⑨ 各学科の前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜の募集人員を含みます。
- ⑩ 各学科の後期日程の募集人員には、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

6. 実施教科・科目等

【共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名の略記について】

共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のとおり略記しています。

教科	科目
国語→国	国語→国, 国語総合→国総, 国語表現→国表, 古文→古, 漢文→漢
地理歴史→地歴	世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B
公民→公	現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 「倫理, 政治・経済」→倫・政経
数学→数	数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅲ→数Ⅲ, 数学A→数A, 数学B→数B, 簿記・会計→簿・会, 情報関係基礎→情報
理科→理	物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基
外国語→外	英語→英, ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓 コミュニケーション英語Ⅰ→コミュ英Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ→コミュ英Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ→コミュ英Ⅲ, 英語表現Ⅰ→英表Ⅰ, 英語表現Ⅱ→英表Ⅱ

【「大学入学共通テストの利用教科・科目名」欄について】

1. 各学部・学科等共通

- 大学入学共通テストの「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施しますが、出題教科としては、それぞれ独立した教科です。
- 「地理歴史」・「公民」及び「理科」（基礎を付していない科目）の試験時間において2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 本学が指定している教科、科目以外を「第1解答科目」としている場合は、その科目を利用できなくなり、出願できません。
- 「理科」の「基礎を付した科目」とは「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。また、「基礎を付していない科目」とは「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。同一名称を付した科目、すなわち物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学を選択することは認めません。
- 「英語」は、リーディングとリスニングが一体型となります。

2. 教科・科目の選択例（〔前期日程〕理学部物質地球科学科物理系）

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 ・ 検査 日程の	共通テストの利用教科・科目名		教科		
		教科	科目名等			
理学部 物質地球科学科 65名 物理系 前期28 後期7 その他5 地学系 前期19 後期3 その他3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数学 理 系 外	国	国語(必須)を1科目選択。 【計1科目】		
			地歴 公民 数学	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1(注1) [計2科目] *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基 化基, 生基, 地基から1 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)		
<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"> 教科:理科 《①の場合》 物基(必須)を1科目選択。 化基, 生基, 地基から1科目選択。 化学, 生物, 地学から1科目選択。 【計3科目】 ※同一名称を付した科目の選択は認めません。 </td> <td style="width:50%"> 教科:理科 《②の場合》 物理(必須)を1科目選択。 (化基, 生基, 地基から2科目選択。)又は (化学, 生物, 地学から1科目選択。) 【計3科目又は計2科目】 </td> </tr> </table>					教科:理科 《①の場合》 物基(必須)を1科目選択。 化基, 生基, 地基から1科目選択。 化学, 生物, 地学から1科目選択。 【計3科目】 ※同一名称を付した科目の選択は認めません。	教科:理科 《②の場合》 物理(必須)を1科目選択。 (化基, 生基, 地基から2科目選択。)又は (化学, 生物, 地学から1科目選択。) 【計3科目又は計2科目】
教科:理科 《①の場合》 物基(必須)を1科目選択。 化基, 生基, 地基から1科目選択。 化学, 生物, 地学から1科目選択。 【計3科目】 ※同一名称を付した科目の選択は認めません。	教科:理科 《②の場合》 物理(必須)を1科目選択。 (化基, 生基, 地基から2科目選択。)又は (化学, 生物, 地学から1科目選択。) 【計3科目又は計2科目】					

3. 大学入学共通テストの利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
「地理歴史」・「公民」から1科目を選択。	「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した場合は、 <u>受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「数学」から1科目を選択。	「数学」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち、高得点の1科目を採用します。
「理科」の「基礎を付していない科目」から1科目を選択。	「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、 <u>受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「理科」の「基礎を付した科目」から2科目または「基礎を付していない科目」から1科目を選択。	①「理科」の「基礎を付した科目」から2科目並びに「基礎を付していない科目」から1科目の計3科目を受験した場合は、「基礎を付した科目（2科目の合計点）」と「基礎を付していない科目」のうち得点の高い方を採用します。 ②「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、 <u>受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「地理歴史」・「公民」及び「数学」から2科目を選択。 *人文社会学部 国際法政学科 後期日程 *国際地域創造学部（夜間主コース） 国際地域創造学科 後期日程	「地理歴史」・「公民」及び「数学」から3科目以上受験した場合は、 <u>「地理歴史」・「公民」の「第1解答科目」を採用後、「地理歴史」・「公民」の「第2解答科目」の得点</u> もしくは「数学」の得点のうち、高得点の1科目の得点を採用します。

【「個別学力検査等」欄について】

1. 数学（甲）の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とします。
数学（乙）の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とします。
※理学部数理科学科が後期日程において課す「数学」の出題範囲は、数学（甲）の出題範囲と同一とします。
2. 物理基礎・物理の出題範囲については、物理基礎と物理をあわせた範囲から出題します。
3. 化学基礎・化学の出題範囲については、化学基礎と化学をあわせた範囲から出題します。
4. 生物基礎・生物の出題範囲については、生物基礎と生物をあわせた範囲から出題します。
5. 地学基礎・地学の出題範囲については、地学基礎と地学をあわせた範囲から出題します。

【「共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄について】

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 共通テストにおける外国語（英語）の【リーディング】と【リスニング】の配点比率については、原則として全学部1：1（教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻社会科教育専修のみ3：1）とし、その得点合計を各学部等の定める外国語の配点に換算して利用します。
【リスニング】を受験しなかった場合の取扱いについては、【リスニング】は0点扱いとし、【リーディング】の得点のみを利用します。
受験上の配慮によって【リスニング】を免除された者については、【リーディング】の得点を利用します。

【前年度の共通テストの成績利用について】

本学では、令和4年度入学選抜において、前年度の共通テストの成績は利用しません。

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

人文社会学部

学部・学科等名 及び入学定員等 令和3年度 志願倍率	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭試問		小論文	調査書	配点合計					
人文社会学部 〔4.1〕 200名 前期120 後期41 その他39	国際法政学 科 80名 前期54名 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 （6教科6科目又は6教科7科目）	外	英（コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ） ※リスニングは除く	2段階 選抜	共通テスト	200	100	100	100	100	200							800	推薦 帰国生徒 私 追加合格					
							個別学力検査等																	50	250	
							計	200	100	100	100	100	400												50	1050
	後期14名 3月12日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） ※地理歴史、公民、数学から2科目選択する。 英、独、仏、中、韓から1 （4教科4科目）	その他	小論文 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*200 *1科目100点				200									600				
							個別学力検査等																	200	50	250
							計	200	200							200									200	50
人間社会学 科 80名 前期41名 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから2①※ 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 } ②※ ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 （5教科6科目若しくは5教科7科目） 又は （6教科6科目若しくは6教科7科目）	その他	小論文 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*200 *1科目100点				100	100	200						800						
						個別学力検査等																	200	50	250	
						計	200	200				100	100	200										200	50	1050
	後期18名 3月12日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから2①※ 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 } ②※ ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 （5教科6科目若しくは5教科7科目） 又は （6教科6科目若しくは6教科7科目）	その他	面接	2段階 選抜	共通テスト	200	*200 *1科目100点				100	100	200						800					
							個別学力検査等																	200	200	
							計	200	200				100	100	200									200	200	1000
琉球アジア 文化学科 40名 前期25名 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 （6教科6科目又は6教科7科目）	その他	小論文 面接 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	100	100	50	50	200							700							
						個別学力検査等																	200	50	500	
						計	200	100	100	50	50	200											200	50	1200	
	後期9名 3月12日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 （6教科6科目又は6教科7科目）	その他	口頭試問	2段階 選抜	共通テスト	100	50	50	50	50	100							400						
							個別学力検査等																200	200		
							計	100	50	50	50	50	100										200	200	600	

（注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

1. 一般選抜(前期日程・後期日程)
令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和3年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等																											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接		口頭試問	小論文	調査書	配点合計																							
国際地域 創造学部 〔3.6〕 345名 前期224 後期48 その他73	(国際的思考系) 前期 60名 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから2①※ 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1(注) 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (6教科6科目若しくは6教科7科目) 又は (5教科6科目若しくは5教科7科目)	外	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニングは 除く	2段階 選抜	共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200								800	推 薦 帰国生徒 私 追加合格																						
							個別学力検査等																		50	250																		
							計	200	200		100	100	400													50	1050																	
	(論理的思考系) 前期 90名 2月25日	その他	小論文 調査書	共通テスト	200	*200 *1科目100点	100	100	200														800																					
																								個別学力検査等																	200	50	250	
																								計	200	200		100	100	200													200	50
	(数学的思考系) 前期 30名 2月25日	数 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) 調査書	共通テスト	200	*200 *1科目100点	100	100	200														800																					
																								個別学力検査等																		50	250	
																								計	200	200		300	100	200													50	1050
	(国際的思考系) 後期 15名 3月12日	その他	小論文(英語資 料読解) 調査書	共通テスト	200	*200 *1科目100点	100	100	200														800																					
																								個別学力検査等																		300	50	350
																								計	200	200		100	100	200													300	50
(論理的思考系) 後期 20名 3月12日	その他	小論文 調査書	共通テスト	200	*200 *1科目100点	100	100	200													800																							
																						個別学力検査等																		300	50	350		
																						計	200	200		100	100	200													300	50	1150	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭試問		小論文	調査書	配点合計				
国際地域 創造学部 345名 前期224 後期48 その他73	(国際的思考系) 前期 20名 2月25日	国 地歴 公民 数理	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数I・数A、数II・数B、簿・会、情報から1(注) 物理、化学、生物、地学から2 又は 英、独、仏、中、韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	外	英(コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニングは 除く	2段階 選抜	共通テスト	200	100	100	100	100	200								800	推 薦 社 会 人 加 格			
							個別学力検査等																	50	350
							計	200	100	100	100	100	500											50	1150
		外	小論文(英語資料読解) 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	100	100	100	100	200												800		
					個別学力検査等																300		50	350	
					計	200	100	100	100	100	200										300		50	1150	
	(国際的思考系) 後期 5名 3月12日	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数I・数A、数II・数B、簿・会、情報から1(注) } から2※ ※地理歴史、公民、数学から2科目選択する。 英、独、仏、中、韓から1 (4教科4科目)	その他	小論文(英語資料読解) 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*200 *1科目100点				200										600		
							個別学力検査等																200	50	250
							計	200	200				200											200	50
		外	小論文 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*200 *1科目100点				200												600		
					個別学力検査等																200		50	250	
					計	200	200				200										200		50	850	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

1. 一般選抜(前期日程)

令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

教育学部-1

学部・学科等名 及び入学生定員等 令和3年度 志願倍率	学力検査等の 日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接		口頭試問	小論文	調査書	配点合計				
教育学部 [3.2] 140名 前期101 その他39	小学校教育コース 2月25日 26日 学校教育専攻 50名 前期35 その他15	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数I・数A } から1 数II・数B } から2 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他 小論文 面接	2段階 選抜	共通テスト	100	*100		100	100	100								500	推薦 追加合格				
						個別学力検査等							150		200									350	
						計	100	*100		100	100	100			150		200								850
校 教 育	小学校教育コース 2月25日 26日 教科教育専攻 45名 前期25 その他20	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、簿・会、情報から1(注) 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	国 数 その他 面接 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*200		200	200	200								1000	推薦 追加合格				
						個別学力検査等	200			200				100									50	550	
						計	400	*200		400	200	200			100									50	1550
教 員 養 成	中学校教育コース 2月25日 26日 教科教育専攻 国際教育専修 4名 前期4	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から2※ 現社、倫・政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、簿・会、情報から1(注) 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科6科目、5教科7科目、6教科6科目又は6教科7科目) ※現社と倫・政経を2科目選択することはできない。	国 その他 面接	2段階 選抜	共通テスト	200	*200		100	100	200								800	追加合格				
						個別学力検査等	400							100										500	
						計	600	*200		100	100	200			100										1300
課 程	中学校教育コース 2月25日 26日 教科教育専攻 社会科教育専修 3名 前期3	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数I・数A、数II・数B、簿・会、情報から1(注) 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	その他 小論文 面接	2段階 選抜	共通テスト	200	200	200	100	100	200								1000	追加合格				
						個別学力検査等								100		500								600	
						計	200	200	200	100	100	200			100		500							1600	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力 検査 日程 の 日 程	教科	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等									
			科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 (注3)	筆記試験 (注4)	面接	口頭試問		小論文	調査書	競技歴 調査書	配点合計					
教育学部 5名	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理、化学、 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	教	数	(数I・数II・数 III・数A・数B)	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		200	200	200								900	追加合格				
								個別学力検査等										50								450	
								計	200	*100		600	200	200				50									1350
学 校 教 育 員	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数I・数A 数II・数B ※下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物理、化学、生基、地学から2 ②物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ③物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	教	数	(数I・数II・数 A・数B)	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		200	200	200							900	追加合格					
								個別学力検査等											200							500	
								計	200	*100		300	400	200				200									1400
美 術 専 攻 科	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数I・数A、数II・数B、簿・会、情報から1 (注2) 物理、化学、生基、地学から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	音楽必須(基礎実 技・筆記試験) 音楽選択 (選択実技) ※実技検査等実施方 法については2 2～25ページ参 照 口頭試問を含む面接 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		100	100	200								700	追加合格					
							個別学力検査等										音楽 必須 250	音楽 選択 150	50					50	500		
							計	200	*100		100	100	200				音楽 必須 250	音楽 選択 150	50					50	1200		
成 績 課	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1※ 現社、倫・政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、簿・会、情報から1 (注2) 物理、化学、生基、地学から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目) ※世A、日A、地理Aの科目を選択解答できる者は、高等学校等でこれら の科目を履修した者に限る。	その他	実技検査 筆記試験 ※実技検査等実施 方法については2 6ページ参照 面接	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		100	100	200								700	帰国生徒 追加合格					
							個別学力検査等										実技 検査 300	筆記 試験 300	100						700		
							計	200	*100		100	100	200				実技 検査 300	筆記 試験 300	100							1400	
程	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿・会、情報から1 (注2) [計2科目] 物理、化学、生基、地学から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	実技検査 ※実技検査実施方 法については2 6ページ参照 面接 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		200	100	200								800	追加合格					
							個別学力検査等										実技 検査 250			300				50	面接に 含む	600	
							計	200	*100		200	100	200				実技 検査 250			300				50		1400	

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。
 (注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。
 (注3) 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修は、「音楽必須(基礎実技・筆記試験)」とする。
 (注4) 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修は、「音楽選択(選択実技)」とする。
 ○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力 検査 日程 等の 備考	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等									
		教科	科目 等 名	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接		口頭試問	小論文	調査書	配点合計					
教育学部 学 校 教 育 員 成 課 程	中学校教育コー ス 教科教育専攻 技術教育専修 3名 前期 2 その他 1	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿・会、情報から1 (注) [計2科目] 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	数 その他	(数I・数II・数 A・数B) 面接		共通テスト	200			*50		200	200	200						850	推 薦 私 費 追加合格				
							個別学力検査等										200								400	
							計	200				*50		400	200	200				200						1250
							共通テスト	200				*100		100	100	200										
個別学力検査等															200		200	100	500							
計	200				*100		100	100	200					200		200	100	1200								
共通テスト	200						200	100	100	50	100	300								850	推 薦 追加合格					
個別学力検査等											250			200				50	500							
計	200						200	100	100	50	100	550			200			50	1350							
共通テスト	200						200	50	50	200	100	200								800	推 薦 追加合格					
個別学力検査等															200				200							
計	200						200	50	50	200	100	200			200				1000							

(注) 数学の「簿記・会計」情報関係基礎、で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

1. 一般選抜(前期日程・後期日程)
令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

理学部-1

学部・学科等名 及び入学生定員等 令和3年度 志願倍率	学力検査等 区分・日程 の 日数	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭試問		小論文	調査書	配点合計								
理学部 〔3.6〕 200名 前期141 後期40 その他19	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から2 英 } から1 (5教科7科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・数 B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物から 1) 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		200	200	200								900	私費 追加合格							
							個別学力検査等				400	200												50	650				
							計	200	*100		600	400	200												50	1550			
		後期 3月 12日	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・数 B) 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		200	200	200											900						
						個別学力検査等				600													50	650					
						計	200	*100		800	200	200											50	1550					
物質地球科学 科 65名 物理系 前期28 後期7 その他5 地学系 前期19 後期3 その他3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1〔計2科目〕 *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基 化基、生基、地基から1 化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理 化基、生基、地基から2〔計3科目〕 又は 化学、生物、地学から1〔計2科目〕 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・数 B) (物基・物理) 調査書	2段階 選抜	パターン A	共通テスト	200	*100		200	200	200								900	推薦 国生 私費 追加合格						
								個別学力検査等				200	200													50	450		
								計	200	*100		400	400	200												50	1350		
							パターン B	共通テスト	100	*50		100	100	100														450	
								個別学力検査等				400	450															50	900
								計	100	*50		500	550	100													50	1350	
		上記のパターンA(共通テスト重視)とパターンB(個別学力検査重視)のそれぞれの合計点を比較し、高得点の点数を利用して可否判定を行います。																											
		国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1〔計2科目〕 *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理、化学、生物、地学から2〔計2科目〕 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・数 B) (物基・物理、 化基・化学、 地基・地学から 1) 調査書	2段階 選抜	共通テスト	200	*100		400	400	200										1300						
							個別学力検査等				200	200												50	450				
							計	200	*100		600	600	200											50	1750				

(注1) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。
(注2) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

理学部-2

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接		口頭試問	小論文	調査書	配点合計					
理学部 物質地球科学 科 65名 物理系 前期28 後期7 その他5 地学系 前期19 後期3 その他3	後期 3月 12日	物理系	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B 物理 化学、生基、地基から2 [計3科目] 又は 化学、生物、地学から1 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他 調査書		共通テスト	200	*100		400	400	200							1300	推薦 国生 徒費 私 追加 合格					
							個別学力検査等																	50	50	
							計	200	*100		400	400	200												50	1350
	後期 3月 12日	地学系	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物理、化学、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他 小論文 調査書		共通テスト	200	*100		400	400	200									1300				
							個別学力検査等																200	50	250	
							計	200	*100		400	400	200											200	50	1550
海洋自然科学 科 95名 化学系 前期27 後期10 その他10 生物系 前期37 後期10 その他1	前期 2月 25日	化学系	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B、簿・会、情報から1 (注2) [計2科目] 化学 物理、生基、地基から2 [計3科目] 又は 物理、生物、地学から1 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数III・数A・数 B) (化基・化学) 調査書		共通テスト	200	*100		200	200	200							900					
								個別学力検査等																	50	450
								計	200	*100		400	400	200											50	1350
	前期 2月 25日	生物系	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B、簿・会、情報から1 (注2) [計2科目] 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数III・数A・数 B) (生基・生物) 調査書		共通テスト	200	*100		200	200	200							900					
								個別学力検査等																30	430	
								計	200	*100		300	500	200											30	1330

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。
 (注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
 ◎配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

理学部-3

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭試問		小論文	調査書	配点合計					
理学部 海洋自然科学 科 95名 化学系 前期27 後期10 その他10 生物系 前期37 後期10 その他1	後期	化 学 系	国 地歴 公民 数 理 外 系	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A 数II・数B 化学 物基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 物理, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他	調査書		共通テスト	200	*100		200	400	200							1100	推薦 国生 徒私 費 追加 合格				
								個別学力検査等																	50	50
								計	200	*100		200	400	200												50
	後期 3月 12日	生 物 系	国 地歴 公民 数 理 外 系	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	その他	小論文		共通テスト	200	*100		200	200	200							900					
								個別学力検査等															200	200		
								計	200	*100		200	200	200											200	1100

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

1. 一般選抜(前期日程・後期日程)
令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 令和3年度 志願倍率	医学 分 力 検 査 等 の 日 程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接		口頭試問	小論文	調査書	配点合計					
医学部 [5・6] 172名 前期111 後期35 その他26	医学科 112名 前期70 後期25 その他17	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理、化学、生物から2 英 (5教科7科目)	外	英 (コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニングは除く	約5倍	共通テスト	200	*100		200	200	200							900	推薦 追加合格				
								個別学力検査等				200	200	200			200									800
								計	200	*100		400	400	400			200									
	後期 3月 12日	数 理 外	英 (コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニングは除く	約10倍	共通テスト	200	*100		200	200	300										1000					
					個別学力検査等									200		100							300			
					計	200	*100		200	200	300			200		100							1300			
保健学科 60名 前期41 後期10 その他9	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理、化学、生物から2 英 (5教科7科目)	数 理 外	(数I・数II・数III・数A・数B) (物基・物理、化基・化学、生基・生物から1)	約5倍	共通テスト	300	*100		200	200	300								1100	推薦 追加合格				
							個別学力検査等				100	200			100										400	
							計	300	*100		300	400	300			100										1500
	後期 3月 12日	数 理 外	英 (コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニングは除く	約10倍	共通テスト	300	*100		200	200	300										1100					
					個別学力検査等									200		100							300			
					計	300	*100		200	200	300			200		100							1400			

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

1. 一般選抜(前期日程・後期日程)
令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

工学部

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和3年度 志願倍率〕	区分・日程 の 学 力 検 査 等 の 期 間	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭試問		小論文	調査書	配点合計				
工学部 〔3.3〕 350名 前期 206 後期 40 その他 104	工学部 350名 前期 206 後期 40 その他 104	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B 物理 化学、生物、地学から2 [計3科目] 又は 化学、生物、地学から1 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数I・数II・数III・数 A・数B) (物基・物理) 調査書	共通テスト	200	*100		300	200	200							1000	総合 推薦 社会 人 費 追 加 合 格				
							個別学力検査等				300	200												150	650
							計	200	*100		600	400	200												150
		後期	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理 化学、生物、地学から2 [計3科目] 又は 化学、生物、地学から1 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	個別学力検査等は課さない	共通テスト				400	400	200										1000			
						個別学力検査等																	100	100	
						計				400	400	200											100	1100	

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等

農学部-2

学部・学科等名 及び入学定員等	区 分 日 程 の 種 別	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接		口頭試問	小論文	調査書	配点合計					
農学部 亜熱帯生物資源科学科 35名 前期 23 後期 4 その他 8	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物理、化学、生基、地学から2 物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他 調査書		共通テスト	200	*100		200	200	200									900	総合 推薦 国 生 私 費 追 加 合 格				
										200	200														100	500
										400	400	200														100
	後期 3月 12日	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (3教科5科目)	その他 口頭試問を含む 面接 調査書		共通テスト				150	300	150									600					
															350			50	400							
										150	300	150				350			50	1000						
前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物理、化学、生基、地学から2 物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他 調査書		共通テスト	200	*100		200	200	200									900						
									200	200												100	500			
									400	400	200												100	1400		

(注) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

7. 実技検査等実施方法（教育学部）

(1) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修（前期日程）

※「A 音楽必須（基礎実技）（ウ）ピアノによる弾き歌い」及び「B 音楽選択（選択実技）」については、実技動画を提出してください。「B 音楽選択（選択実技）（イ）声楽及び（ウ）管弦打楽器」は無伴奏による実技動画を提出してください。

A 音楽必須（基礎実技・筆記試験）

(ア) 聴音：8～12小節程度の単旋律書き取り

(イ) 音楽理論の筆記試験

(ウ) ピアノによる弾き歌い

○次の楽曲の中から任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとします。

「 花 」 武島羽衣 作詞 滝廉太郎 作曲

「 椰子の実 」 島崎藤村 作詞 大中寅二 作曲

「帰れソレントへ」 G. B. デ・クルティス 作詞 E・デ・クルティス 作曲

(原語・邦語のどちらでもよい)

注1：音楽理論については、基礎的な楽典、用語、音楽史などの内容を課す。

2：実技検査に係る動画提出申請書に、曲名、作曲者名及び作詞者名を明記すること。

3：ピアノによる弾き歌いについては、暗譜の必要はありません。

B 音楽選択（選択実技）

下記の（ア）～（ウ）より1つ選択すること。

(ア) ピアノ

○F. J. ハイドン、W. A. モーツァルト、L. V. ベートーヴェンのピアノソナタより第1楽章を演奏すること。

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、曲名、作曲者名を明記すること。

2：繰り返しは省略すること。

(イ) 声楽

○任意の声楽曲1曲を歌うこと。

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、曲名、作曲者名及び作詞者名を明記すること。

2：実技動画提出時に、楽譜を同封すること。

3：オペラ・アリア以外は移調可。

(ウ) 管弦打楽器

○任意の楽曲1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：実技検査に係る動画提出申請書に曲名、作曲者名及び楽器名を明記すること。

2：実技動画提出時に、楽譜を同封すること。

C 口頭試問を含む面接

令和4年度 一般選抜(前期日程) 実技検査 実技動画の撮影及び提出について

1. 実技動画撮影における留意事項

- ① 「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」と「B 音楽選択(選択実技)」をそれぞれ別々に撮影し、DVD-R, SD カード, USB フラッシュドライブ(以下「USB メモリ」)のいずれかのメディアにその録画データを保存してください。
- ② 動画ファイル形式は、MPEG4(.mp4 もしくは.m4a), または MOV(.mov)です。指定の動画ファイル形式以外の提出は受け付けません。
- ③ DVD-R に保存する場合は、最後にファイナライズ処理をするなどして、必ずマスター形式(書き込み不可)にしてください。(Windows, または Mac でデータ確認ならびに再生できることを確認してください。)
- ④ オリジナルデータは、各自で保管してください。
- ⑤ 動画の画質品質を保つため、画面解像度(ピクセル)は 720p, フレームレート(fps)は 30fps の HD 画質で録画してください。
- ⑥ 録画する映像は全身が映るように撮影してください。(「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」及び「B 音楽選択(選択実技) (ア)ピアノ」については、以下に記載されている「3.」の撮影例を参照のこと)
- ⑦ 演奏前に、琉球大学の受験番号と「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」または「B 音楽選択(選択実技)」で演奏する曲名・作曲者名を(「A 音楽必須(基礎実技) (ウ) ピアノによる弾き歌い」及び「B 音楽選択(選択実技) (イ)声楽」選択者は作詞者名もあわせて)、カメラに向かって話してください。

例) 「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」の録画

『受験番号は〇〇〇〇〇〇です。ピアノによる弾き歌いとして、◇◇◇◇作曲・
◆◆◆◆作詞の《曲名》を演奏します。』

「B 音楽選択(選択実技)」の録画

『受験番号は〇〇〇〇〇〇です。選択実技として、◇◇◇◇作曲(・◆◆◆◆作詞)の
《曲名》を演奏します。』

- ⑧ 「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」「B 音楽選択(選択実技)」それぞれの動画は、録画開始から終了までの内容を一切編集しないで下さい。
- ⑨ 提出する動画は、映像と音声がいずれもしっかり記録されていることを自身で必ず確認してください。演奏を妨げる大きなノイズ(サイレン, 選挙カー, 電車の音, 道路の音, 部

屋の中のノイズ, チャイム, 家庭の生活音等)はなるべく入らないよう配慮をお願い致します。

⑩ 服装は自由です。

2. 実技検査における使用楽器について

【「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」の場合】

- ・ 演奏は原則ピアノを使用してください。やむを得ない場合は, 電子楽器を可としますが, その場合は録音・再生機能等を使用しないでください(不正行為になります)。

【「B 音楽選択(選択実技) (ア)ピアノ」を選択の場合】

- ・ 演奏はピアノを使用してください。アップライトピアノまたはグランドピアノのどちらを用いてもかまいません。電子楽器は不可です。

【「B 音楽選択(選択実技)(イ)声楽及び(ウ)管弦打楽器」を選択の場合】

- ・ 演奏は公平性を期すために, 無伴奏で行ってください。

3. 「A 音楽必須(基礎実技)(ウ)ピアノによる弾き歌い」及び 「B 音楽選択(選択実技)(ア)ピアノ」の撮影例

[右手が手前にくる場合の撮影例]



[左手が手前にくる場合の撮影例]



- ・ 演奏者の右手または左手が手前になるよう, 全身がわかるように撮影してください(顔, 手, 腕, ペダルが映る角度で撮影してください)。

4. 実技動画の提出方法

- ① 提出メディアは必ず収納ケース、または緩衝材等で包み、衝撃から守るようにしてください。送付された記録メディアの破損については、一切の責任を負いかねます。
- ② 「実技動画提出に関する誓約書」及び「実技検査に係る動画提出申請書」に必要事項を記入の上、動画を収録したメディアと共に、出願書類とは別に、2月16日(水)までに郵送してください。

【提出期限】2月16日(水)必着

最終日 17:00 必着(消印有効ではありません。)

※なお、追試験を受けることになる場合も、実技動画提出は2月16日(水)必着です。

【提出物】

- ① 「A 音楽必須(基礎実技) (ウ)ピアノによる弾き歌い」及び「B 音楽選択(選択実技)」の演奏動画が収録されているメディア(受験番号が明記されているもの)
- ② 必要事項の記載及び署名・捺印がされている「実技動画提出に関する誓約書」
- ③ 必要事項が記載されている「実技検査に係る動画提出申請書」
- ④ B 音楽選択(選択実技)の楽譜
(イ)声楽, (ウ)管弦打楽器のみ

※1 上記①～③の提出物は、市販の封筒(※2)に入れ、「書留郵便」で郵送してください。提出期限を過ぎて到着した場合には受理しませんので、ご注意ください。
本学ホームページから宛名ラベルを印刷し、貼り付けてご使用ください。
(35ページ参照)

※2 封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm で A4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒)を準備してください。収録メディアを封入する際には、郵送過程で破損しないよう、ケースを緩衝材に包むなど、十分に気を付けてください。送付されたメディアの破損については、一切の責任を負いかねます。

※3 実技動画に関連する提出物①～③の受付は、原則として郵送に限ります。ただし、高等学校等が取りまとめて提出する場合及び提出期限までに到着しないおそれがある場合は、持参による提出を認めます。

※4 持参の場合の受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※5 提出されたメディアは返却いたしませんので、ご注意ください。

※6 提出された動画資料は、本学実技検査にのみ使用し、その他には一切使用いたしません。

お問い合わせ先:教育学部学務係(電話 098-895-8317)

9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

(2) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修 (前期日程)

A 実技検査	発想力及び造形力を評価します。	【解答時間 4時間】
B 筆記試験	鑑賞力や知識, 造形教育への関心度及び発想力を評価します。	【解答時間 2時間】
C 面接	受験の動機, 学習意欲, 表現力及び適性を評価します。	

※実技検査に必要な用具・材料は大学側で準備します。

(3) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修 (前期日程)

A 実技検査 (「新体力テスト」を実施)

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン
⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ハンドボール投げ

- 注1: 上記のテスト8項目を体育館で全員が受験すること。
2: 実技検査の際には, 実技の服装及び体育館用運動靴を準備すること。
3: 受験番号を記入したゼッケン (15cm×25cm) を各自で準備し, 胸部につけること。
4: 更衣室あり。

B 面接

学校教員としての資質や適性, 運動・スポーツの専門家となるための資質や適性, 専門種目についての理解と競技実績・成績 (所定の「競技歴調査書」に記載)などを総合的に評価します。

8. 個別学力検査等の試験日時及び試験場

(1) 前期日程

① 試験日時

- 志願者は試験開始時刻の30分前までに当該学部の試験場前(②を確認)に集まってください。
- 面接(実技含む)については指定の集合時刻までに当該学部の試験場前(②を確認)に集まってください。
- 試験開始時刻(面接は、集合時刻)から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

※筆記試験の後に面接がある場合、試験監督者等の指示に従ってください。

※受験者全員が集合次第、面接を開始する場合があります。

学部	学科・課程等		2月25日(金)		2月26日(土)		
			科目等	時刻	科目等	時刻	
人文 社会 学部	国際法政学科		英語	9:30~11:10	----	----	
	人間社会学科		小論文	13:00~15:30	----	----	
	琉球アジア文化学科		小論文 面接 (注)	9:30~11:30 13:00~18:00	面接 (注)	9:00~18:00	
国際 地域 創造 学部	国際 地域 創造 学科	昼間 主 コース	(国際的思考系)	英語	9:30~11:10	----	----
			(論理的思考系)	小論文	13:00~15:00	----	----
			(数学的思考系)	数学(乙)	13:00~14:00	----	----
	夜間 主 コース	(国際的思考系)	英語	9:30~11:10	----	----	
		(論理的思考系)	小論文	13:00~15:00	----	----	

(注) 人文社会学部琉球アジア文化学科は、「面接」の集合時間を2月14日(月)までに、出願時に登録したメールアドレス宛に通知します。大学からのメール(hbgakmu@acs.u-ryukyuu.ac.jp)を確実に受信できるよう設定を確認してください。2月15日(火)までにメールが届かない場合は、人文社会学部学務係(098-895-9056)へ連絡してください。

学部	学科・課程等		2月25日(金)		2月26日(土)		
			科目等	時刻	科目等	時刻	
教育 学部	小学校教育コース	学校教育専攻	小論文面接 (注1)	9:00~11:30 13:00~18:00	面接予備日	9:00~18:00 ※2月25日に面接が終了しなかった場合	
		教科教育専攻	国語 数学(乙) 面接 (注1)	9:30~10:50 13:00~14:00 14:30~18:00 (集合時刻は14:15)	面接予備日	9:00~18:00 ※2月25日に面接が終了しなかった場合	
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	国語面接	9:30~11:10 13:00~17:00 (集合時刻は12:30)	—	—
			社会科教育専修	小論文面接	10:00~12:00 13:00~18:00 (集合時刻は12:30)	—	—
			数学教育専修	数学(甲) 面接	13:00~15:00 15:30~18:00 (集合時刻は15:00)	—	—
			理科教育専修	面接 数学(乙) 理科	9:00~12:00 (集合時刻は8:30) 13:00~14:00 15:50~17:30	—	—
			音楽教育専修	音楽必須 (基礎実技・筆記試験) 口頭試験を含む面接	9:00~10:30 (集合時刻は8:30) 9:00~9:20(聴音) 9:30~10:30(筆記試験) 13:00~18:00 (集合時刻は12:30)	口頭試験を含む面接予備日	9:00~18:00 (集合時刻は8:30) ※2月25日に面接が終了しなかった場合
			美術教育専修	実技検査	9:00~13:30 (集合時刻は8:30)	筆記試験面接	9:00~11:30 13:30~18:00 (集合時刻は13:00)
			保健体育専修	実技検査	9:00~17:00 (集合時刻は8:30)	面接 (注1)	9:00~17:30
			技術教育専修	数学(乙) 面接	13:00~14:00 14:30~18:00 (集合時刻は14:00)	—	—
			生活科学教育専修	小論文 口頭試験を含む面接	10:00~11:30 13:00~17:00 (集合時刻は12:30)	—	—
			英語教育専修	英語 面接(注2)	9:30~11:10 13:00~17:00 (集合時刻は12:30)	—	—
	特別支援コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	面接	13:00~18:00 (集合時刻は12:30)	—	—

(注1) : 小学校教育コース(学校教育専攻・教科教育専攻)、中学校教育コース(保健体育専修)の「面接日」及び「面接の集合時刻」は2月14日(月)までに、出願時に登録したメールアドレス宛に通知します。大学からのメール(kigakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp)を確実に受信できるよう設定を確認してください。なお、2月15日(火)までにメールが届かない場合は、教育学部学務係(098-895-8317)に連絡してください。

(注2) : 教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育専修においては、英語で行います。

学部	学科・課程等	2月25日(金)		2月26日(土)	
		科目等	時刻	科目等	時刻
理学部	数理学科 物質地球科学科 (物理系・地学系)	数学(甲)	13:00~15:00	—	—
	海洋自然科学科 (化学系・生物系)	理科	15:50~17:30	—	—
医学部	医学科	英語 数学(甲) 理科	9:30~11:10 13:00~15:00 15:50~17:30	面接	9:00~18:00 (集合時刻は8:30)
	保健学科	数学(甲) 理科	13:00~15:00 15:50~17:30	面接	9:00~18:00 (集合時刻は8:30)
工学部	工学科	数学(甲) 理科	13:00~15:00 15:50~17:30	—	—
農学部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)	数学(乙) 理科	13:00~14:00 15:50~17:30	—	—

② 試験場 「試験場配置図」 (下記URL)

(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/ippansenbatsu/>) を参照

試験当日はバスなどの交通機関の混雑が予想されますので、早めに試験場に来場してください。

学部	試験場
人文社会学部	文系講義棟
国際地域創造学部	共通教育棟1号館・2号館
教育学部	教育学部本館棟, 附属中学校(※), 文系総合研究棟, 教育実践棟, 音楽棟(音楽教育専修) 本学 Asteeda Arena(第一体育館)(保健体育専修) ※教育学部本館棟 玄関前集合(保健体育専修以外) ※保健体育専修はAsteeda Arena(第一体育館) 玄関前
理学部	理学部棟(理系複合棟を含む)
医学部	医学部基礎講義実習棟 医学部臨床講義棟, おきなわクリニカルシミュレーション センター, がじゅまる会館, 医学部保健学科棟
工学部	工学部棟(1号館~4号館)
農学部	共通教育棟2号館・3号館(注 農学部棟改修中)

③ 試験場下見 令和4年2月24日(木) 15:00~18:00頃

(※附属中学校は16:30~18:00頃)

各試験場の建物入口において、受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図(実技検査、面接の集合場所を含む)を掲示します。試験室内への立入はできません。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、下見を行う場合は、マスクを着用し、他者との接触や会話は極力控えてください。

(2) 後期日程

① 試験日時

- 志願者は試験開始時刻の30分前までに当該学部の試験場前(②を確認)に集まってください。
- 面接・口頭試問については指定の集合時刻までに当該学部の試験場前(②を確認)に集まってください。
- 試験開始時刻(面接は、集合時刻)から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
※筆記試験の後に面接がある場合、試験監督者等の指示に従ってください。
※受験者全員が集合次第、面接を開始する場合があります。

学部	学科・課程等		3月12日(土)	
			科目等	時刻
人文社会学部	国際法政学科		小論文	10:00~12:00
	人間社会学科		面接	9:10~17:00 (集合時刻は9:00)
	琉球アジア文化学科		口頭試問	9:00~18:00 (集合時刻は9:00)
国際地域創造学部	国際地域創造学科	昼間主コース (国際的思考系)	小論文 (英語資料読解)	10:00~12:00
		(論理的思考系)	小論文	10:00~12:00
	夜間主コース	(国際的思考系)	小論文 (英語資料読解)	10:00~12:00
		(論理的思考系)	小論文	10:00~12:00
理学部	数理学科		数学	10:00~12:00
	物質地球科学科(地学系)		小論文	10:00~12:00
	海洋自然科学科(生物系)		小論文	10:00~12:00
医学部	医学科	小論文 面接	10:00~12:00 13:00~18:00 (面接の集合時刻は12:30)	
	保健学科	小論文 面接	10:00~12:00 13:00~18:00 (面接の集合時刻は12:30)	
農学部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)		口頭試問を含む 面接	9:15~17:00 (集合時刻は8:30)

※教育学部、理学部(物質地球科学科物理系、海洋自然科学科化学系)、工学部工学科では後期日程で個別学力検査等は課さないため、本学へ来場の必要はありません。

② 試験場 「試験場配置図」 (下記URL)

(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/ippansenbatsu/>) を参照

試験当日はバスなどの交通機関の混雑が予想されますので、早めに試験場に来場してください。

学 部	試 験 場
人 文 社 会 学 部	文系講義棟
国 際 地 域 創 造 学 部	共通教育棟 1号館・2号館
理 学 部	理学部棟 (理系複合棟を含む)
医 学 部	医学部基礎講義実習棟 医学部臨床講義棟 医学部保健学科棟 がじゅまる会館 おきなわクリニカルシミュレーションセンター
農 学 部	共通教育棟 2号館・3号館 (注 農学部棟改修中)

③ 試験場下見 令和4年3月11日(金) 15:00~18:00頃

各試験場の建物入口において、受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図(実技検査、面接の集合場所を含む)を掲示します。試験室内への立入はできません。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、下見を行う場合は、マスクを着用し、他者との接触・接近や会話は極力控えてください。

9. 出願手続

(1) インターネット出願

インターネット出願は、専用サイトで登録後、入学検定料を支払い、出願書類等を本学へ郵送・受理されることで出願完了となりますので、ご注意ください。

【インターネット出願の流れとスケジュール】



(2) 受付期間

インターネット出願登録 及び 入学検定料払込開始日	令和4年1月17日(月) インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に提出書類等を提出することが必要です。
インターネット出願 登録可能期間	令和4年1月17日(月)～2月4日(金) <u>17:00</u> まで インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に提出書類等を提出することが必要です。
入学願書受付期間 (出願書類提出期間)	令和4年1月24日(月)～2月4日(金) <u>17:00必着</u> <u>(消印有効ではありません)</u>

※ 出願書類を郵送する際は、郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので、十分な時間的余裕をもって発送してください。

《一般選抜（前期・後期）インターネット出願サイト》
(<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/>)

登録期間 令和4年1月17日（月）～ 2月4日（金）17：00まで

※登録期間以外は、登録できません。

※インターネット出願を理解していただくための体験版が以下の日程でご利用
できます。

体験版からは出願できません。

体験版利用期間 令和3年12月20日（月）～ 令和3年12月27日（月）

17：00まで

《インターネット出願登録方法ガイド》

(<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/how/>)

インターネット出願システム志願者受付操作サポート窓口

電話 0120-752-257

(3)出願手順

① 出願登録のためのEメールアドレスの準備

Eメールアドレスは、スマートフォン・携帯電話のEメールアドレスやフリーメールも利用可能ですが、本学からのメール（nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp）を確実に受信できるよう設定を確認してください。登録されたEメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。

② インターネット出願サイトへの登録

本学ホームページ【入試情報】のインターネット出願サイトより志願者情報の登録を行います。
※自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は、自宅以外（学校等）のパソコン等（インターネット環境）を利用いただいてもかまいません。

③ 入学検定料の払込み（「12. 入学検定料の払込について」参照）

④ 出願書類等の提出（出願書類については「10. 出願書類等」参照）

(4)受験票について

出願書類を受付後、令和4年2月14日（月）以降、インターネット出願サイトからダウンロードが可能となります。受験票は各自で印刷（A4サイズ）し、試験当日に必ず持参してください。

※試験当日持参するもの

琉球大学一般選抜受験票 と **大学入学共通テスト受験票** を必ず持参してください。

10. 出願書類等

(1) 高等学校等から取り寄せる書類

出願書類等	事 項
1. 調査書	<p>1. 高等学校，中等教育学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者又は令和4年3月31日までに卒業見込みの者は，出身高等学校等の長が文部科学省の定めた様式により作成したもので，出身校において厳封したもの。なお，経年により調査書が得られない場合には，成績を証明できる書類をもって調査書に代えることができます。また，高等学校卒業後の年数が長く調査書及び成績を証明できる書類を提出できない場合には，高等学校等から「卒業証明書」と「経年で成績証明書を出せない旨の証明書」を発行してもらい提出してください。</p> <p>2. 高等専門学校第3学年修了者又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月31日までに卒業見込みの者は，出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものををもって調査書に代えることができます。</p> <p>3. 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む）は，当該試験等の合格成績証明書をもって調査書に代えます。ただし，高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除される場合は，その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。</p> <p>4. 「琉球大学入学資格認定書」の交付を受けた者は，調査書を提出してください。ただし，調査書が提出できない場合には，事前に学生部入試課へ相談してください。</p> <p>5. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの，国際バカロレア資格取得者，文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は，成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>6. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格取得者については，一般的大学入学資格証明書に記載されている成績をもって調査書に代えることができます。</p> <p>7. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得者については，バカロレア資格試験成績証明書に記載されている成績をもって調査書に代えることができます。</p> <p>8. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者については，成績評価証明書に記載されている成績をもって調査書に代えることができます。</p> <p>※なお，被災等の事情により調査書を提出できない者は卒業証明書又は卒業見込み証明書及び成績証明書を提出してください。</p>
2. 住民票の写し (外国籍の者のみ)	外国籍を有する者は，市町村長発行のマイナンバーの記載のない住民票の写し（記載事項の省略が無いもの）を提出してください。

調査書について

- (1) 文部科学省所定の様式に従い出身高等学校等の長が作成した調査書により、入学志願者の高等学校在学中の学習成績、特別活動等について審査します。
- (2) 高等学校等の長が調査書を作成する際には、次の事項を記入してください。
 - ① 学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊸と標示し、「備考」欄にその理由を明示してください。
 - ② 「総合的な学習の時間の内容・評価」の欄については、「総合的な学習の時間」を履修していない場合には当該欄に斜線を引いてください。
 - ③ 教育学部の入学志願者のうち、当該志望課程（専攻・専修）に対する能力・適性等について特に出身高等学校等の長が推薦できる者については、「備考」欄にその旨を記入してください。
 - ④ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、高等学校で臨時休業等が実施され、各種のスポーツ・文化関係の行事、大会及び資格・検定試験等が中止、延期又は規模縮小等されているため、努力のプロセス等を記載しても構いません。

(2) インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等	事 項
3. 出願確認票	インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷してください。 ※1 印字されている内容に誤りがないか、確認してください。修正が必要な場合は、該当部分に二重線を引き、赤のボールペン（消せるボールペンは不可）で追記してください。 ※2 ホチキス止めはしないでください。
4. 宛名ラベル	インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※1 印字されている内容に誤りがないか、確認してください。 また、提出書類等について確認の上、チェックしてください。 ※2 封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。

(3) 本学様式指定の書類

様式は令和4年度一般選抜【様式】 (<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/ippansenbatsu/>) から印刷してください。

出願書類等	事 項
5. 実技検査に係る動画提出申請書	(教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修のみ) 志願者本人の直筆で、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により作成してください。 (実技動画と一緒に提出 2月16日(水) 17:00必着)
6. 実技動画提出に関する誓約書	(教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修のみ) 志願者本人の直筆で、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により作成してください。 (実技動画と一緒に提出 2月16日(水) 17:00必着)
7. 競技歴調査書	(教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修のみ) 出身高等学校等の長が作成し、提出してください。
8. 志願理由書	(教育学部 (小学校教育コース学校教育専攻), 医学部 (医学科, 保健学科) のみ) 志願者本人の直筆により作成してください。 *医学部志願者は、「学歴」欄、「職歴」欄及び「賞罰等」欄も記入してください。

※出願書類の印刷について

出願書類の印刷はA4サイズで行い、モノクロ、カラーどちらでもかまいません。また、印刷用紙は普通紙でかまいません。なお、出願書類が2ページ以上ある場合は、両面印刷で印刷してください。

(4)提出方法・提出先

「10. 出願書類等」は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼った市販の封筒（角形2号）に入れ、「書留郵便」で郵送してください。

入学願書の提出：原則郵送（書留郵便）をお願いします。

ただし、高等学校等が生徒の入学願書を取りまとめて提出する場合及び「9. 出願手続」（2）の入学願書受付期間内に到着しないおそれがある場合は持参による提出を認めます。

（入学願書を取りまとめて提出する場合でも、入学願書を志願者毎に封筒に入れること）
持参の場合の受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日を除く）

郵送先：琉球大学 学生部入試課（試験場配置図を参照）

住所 〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 全保連ステーション（大学会館）1階

電話 098-895-8141, 8142

(5)出願に関する注意事項

- ① 各学部・学科等が定める大学入学共通テストの教科・科目を受験していなければ、本学への出願資格がありませんので注意してください。
- ② 教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻は、入学時に各専修に仮配属します。インターネット出願登録時の志望学部・学科等を選択する際に志望する専修を第3志望まで選択してください。（「13. プログラム・コース等への配属について」（3）参照）
- ③ 工学部工学科は、合格者を各コースに配属します。出願を希望する者は、インターネット出願登録時の志望学部・学科等を選択する際に志望するコースを第7志望まで選択してください。（詳細は「13. プログラム・コース等への配属について」（4）参照）
- ④ 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合は受け付けません。
- ⑤ 出願書類受付後は、いかなる事情があっても書類の返却及び差替え並びに入力事項の変更は認めません。（ただし、住所・連絡先の変更があった場合は速やかに入試課までご連絡ください）
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載及び不正の事実が認められた場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

1 1. 出願に関する取扱い

(1) 国公立大学を複数受験する場合の取扱い

① 他大学との併願及び本学内での併願

志願者は、分離・分割方式の「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められませんので注意してください。

なお、本学では同一学部、異なる学部を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。

② 学校推薦型選抜について

○ 学校推薦型選抜に出願した者で、不合格になった場合に備えて、一般選抜の受験を希望する者は、一般選抜の出願期間内に改めて別途出願しなければなりません。

○ 本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ）の学校推薦型選抜合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

③ 総合型選抜について

○ 総合型選抜に出願した者で、不合格になった場合に備えて、一般選抜の受験を希望する者は、一般選抜の出願期間内に改めて別途出願しなければなりません。

○ 本学又は他の国公立大学・学部の総合型選抜合格者は、当該大学・学部の定める手続により入学辞退届を提出した場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても合格者とはなりません。

④ 前期日程に合格した場合

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、他に出願済みの国公立大学・学部の後期日程を受験しても合格者とはなりません。

(2) 理学部第2志望の取扱い(数理科学科, 物質地球科学科, 海洋自然科学科化学系)

1) 物質地球科学科物理系を第2志望とする出願について

次の①に該当する志願者に限り物質地球科学科物理系を第2志望として出願することができます。

① 数理科学科及び物質地球科学科地学系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で、物質地球科学科物理系（以下「物理系」）が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験し、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、物理系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。（15ページ「大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等及び配点」参照）

② 物理系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である物理系の合否判定の対象者とはしません。

③ 物理系の合否判定においては、物理系の志願者（物理系のみを志望している者）及び物理系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし、総合得点（物理系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者とします。ただし、物理系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。

④ 上記③において、物理系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

2) 物質地球科学科地学系を第2志望とする出願について

次の①に該当する志願者に限り物質地球科学科地学系を第2志望として出願することができます。

- ① 数理科学科、物質地球科学科物理系及び海洋自然科学科化学系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で、物質地球科学科地学系（以下「地学系」）が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験し、地学系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、地学系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、地学系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。（15ページ「大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等及び配点」参照）
- ② 地学系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である地学系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 地学系の合否判定においては、地学系の志願者（地学系のみを志望している者）及び地学系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし、総合得点（地学系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者とします。ただし、地学系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において、地学系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

(3) 医学部医学科の2段階選抜

- ① 医学部医学科（前期・後期日程）において、入学志願者数が前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約10倍を超えた場合には、大学入学共通テストの成績による第1段階選抜を行い、その合格者について個別学力検査等による第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、令和4年2月14日（月）までに本学ホームページ（入試情報<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/>）でお知らせします。
- ② 上記1)により第1段階選抜を実施した場合、第1段階合格者は、令和4年2月14日（月）以降にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。
不合格者には、インターネット出願サイトで登録した志願者住所へ不合格通知書及び返還金払戻請求書を令和4年2月14日（月）までに本学から発送します。
なお、第1段階選抜を実施しなかった場合は、志願者全員が令和4年2月14日（月）以降にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。
- ③ 第1段階選抜の不合格者には、検定料「17,000円」のうち「13,000円」を本学の定める方法により返還しますので、該当する者は令和4年3月31日（木）までに、所定の手続きを行ってください。（「12. 入学検定料の払込について（4）検定料の返還について」参照）

1 2. 入学検定料の払込について

(1) 検定料	昼間主コース 17,000円	夜間主コース 10,000円
---------	----------------	----------------

- 入学検定料の他に、別途必要な支払い手数料（900円）は志願者負担となります。
- 災害等により被災された方については、入学検定料免除の特例措置を行っております。条件や手続きの詳細については、「◆災害等による入学検定料の特例措置について」を参照してください。

(2) 入学検定料払込期間

令和4年1月17日(月)から2月4日(金)17:00まで

(3) 払込方法（インターネット出願サイトで選択できます）

コンビニエンスストア、Pay-easyでの支払い（銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング）、クレジットカード（VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、DINERS Club）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

- 銀行窓口での支払いはできません。
- コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。
- コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

(4) 検定料の返還について

払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ア. 検定料を支払ったものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま入学願書受付期間が終了、又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）
 - イ. 誤って検定料を二重に支払った場合
 - ウ. 特例措置対象者が検定料を支払った場合
 - エ. 医学部医学科において、第1段階選抜試験を実施した場合、その不合格者に対しては「13,000円」を返還します。
 - オ. 入学願書受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合は、「13,000円」（夜間主の場合は7,800円）を返還します。
- ※ いずれの場合でも、支払い手数料（900円）は返還しません。

◆上記「ア」から「オ」に該当する場合

① 申請方法

令和4年度一般選抜【様式】↓より所定の様式「返還金払戻請求書」をダウンロード

(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/ippansenbatsu/>)

A4サイズで印刷の上必要事項を記入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印の上、下記へ送付してください。

② 送付期限：令和4年3月31日(木)

③ 送付先

該当項目	送付先
「ア」「イ」「エ」「オ」に該当	琉球大学財務部経理課収入・支出係 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電話：098-895-8058
「ウ」に該当	琉球大学学生部入試課 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電話：098-895-8141, 8142

④ 留意事項

- 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- 返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。
- ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。
- 返還には請求書受理後2～3か月程度かかります。

(5) 災害等による入学検定料の特例措置について

本学では、令和4年度の全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、昨年度に引き続き特例措置を実施し、次に該当する入学志願者の入学検定料を免除します。

(1) 措置内容

検定料の免除（昼間主コース 17,000円、夜間主コース 10,000円）

(2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必要書類（写し）	
① 東日本大震災，熊本地震，平成30年7月豪雨，北海道胆振東部地震，令和元年房総半島台風，東日本台風又は令和2年7月豪雨における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	/	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合		罹災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡，又は行方不明の場合		死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書	

(3) 申請の方法 申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

インターネット出願システムでの出願登録前に、申請方法や事前に必要となる内容等についてご確認ください。

- ① 学生部入試課へ連絡のうえ、該当の可否及び必要書類等について確認してください。
- ② 令和4年度一般選抜【様式】より所定の様式「検定料免除申請書」をダウンロードしてください。
(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/ippansenbatsu/>)
- ③ 「検定料免除申請書」をA4サイズで印刷の上必要事項を記入し、被災状況の理由を選択、氏名欄へ押印してください。
- ④ 学生部入試課へ、必要資料をFAXで送付してください。
- ⑤ 「検定料免除申請書」に、必要書類を添えて、出願書類とともに同封のうえ下記へ提出してください。

(4) 検定料を誤って納付した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式「返還金払戻請求書」に罹災証明書等を添えて学生部入試課へ申請してください。申請後、検定料を返還します（払戻の理由は「4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択してください）。

※返還金払戻請求書の送付期限 令和4年3月31日（木）

【申請先】

琉球大学学生部入試課	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電 話 098-895-8141, 8142 FAX 098-895-8129
------------	--

13. プログラム・コース等への配属について

(1) 人文社会学部のプログラムへの配属等について

人文社会学部では、1年次の間は合格した学科に配属されます。1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき、2年次前学期から下記の表のとおり各プログラムに配属されます。ただし、下記に示すプログラムの受入人数は目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。

また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。

国際法政学科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人間社会学科	哲学・教育学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	32名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

※学校推薦型選抜Ⅱで入学した人間社会学科の学生は、2年次前学期から合格したプログラムに配属されます。

(2) 国際地域創造学部のプログラムへの配属等について

国際地域創造学部の一般選抜は、昼間主コースと夜間主コースに分かれたうえで、学科一括で募集します。

また、一般選抜は選抜方式毎に募集人員を設けますが、どの選抜方式で合格し、入学してもプログラムの配属には影響しません。

各プログラム（昼間主・夜間主）に記した人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

【昼間主コース】

学科単位で募集を行い、2年次前学期までは学科に配属します。

2年次前学期を終了した時点で、本人の希望と3箇学期（2年次前学期まで）の成績等に基づき下記の5つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次後学期から各プログラムに配属されます）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスを行います。

国際地域創造学科 (昼間主コース)	観光地域デザインプログラム	60名
	経営プログラム	60名
	経済学プログラム	65名
	国際言語文化プログラム	48名
	地域文化科学プログラム	32名

【夜間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と2箇学期（1年次後学期まで）の成績等に基づき次の3つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスを行います。

国際地域創造学科 (夜間主コース)	経営プログラム	20名
	経済学プログラム	30名
	国際言語文化プログラム	30名

(3) 教育学部の専修の決定方法等について

学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻の一般選抜は、学校教育専攻一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。合格者は学校教育専攻に所属します。2年次前学期開始前に、本人の希望と入学後の成績等に基づき、専修配属を行います。

学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻の一般選抜は、教科教育専攻一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。

出願時に教科教育専攻10専修に対する志望順位を第3志望まで記入してもらい、その志望に沿って合格者を各専修に仮配属します。得点上位者から順に第1志望の専修に配属し、第3志望まで、専修の受入人員以内になるよう配属します。

各専修の最大の受入人員の目安は、7名程度です。志望順位を第3志望まで選択していない場合は、志望していない専修に配属されることもあります。仮配属専修名は、合格通知書に同封して通知します。

2年次前学期開始前に、本人の希望と1年次の成績に基づき、最終的な専修配属を行います。専修変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生の専修変更はありません。なお、希望する専修への変更を確約するものではありません。

(4) 工学部のコース配属について

工学部の一般選抜は、工学科全体で入学者選抜試験を実施します。出願を希望する者は、出願時に工学科7コースに対する志望順位を記入してください。

工学科全体で、共通テストと個別学力検査等の総合点に関して上位から順に合格者を決定します。

その上で、次の方法により志望に沿って合格者を各コースに配属します。総合点の上位者から、各コースの受入人員の目安を考慮して、その志望順位の上位から順に配属します。続いて、同様な手順を第2志望、第3志望の順に第7志望まで繰り返して合格者の上位志望順に配属します。志望順位を第7志望まで記入していない場合には、志望順位を記入していないコースに適宜配属されることがあります。

配属コース名は合格通知書に同封して通知します。

各コースの受入人員の目安は次のとおりです。

コース名	前期日程	後期日程
機械工学コース	32名程度	6名程度
エネルギー環境工学コース	32名程度	6名程度
電気システム工学コース	28名程度	6名程度
電子情報通信コース	28名程度	6名程度
社会基盤デザインコース	25名程度	5名程度
建築学コース	28名程度	5名程度
知能情報コース	33名程度	6名程度

コース配属の変更は、1年次のキャリア教育等を踏まえて、2年次前学期開始前に本人の希望と学力成果に応じて行います。コース変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生のコース配属の変更はありません。なお、コース変更を希望しても、必ずしも希望するコースに変更できるわけではありません。

1 4. 受験時における合理的配慮等について

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「受験時における合理的配慮申請書」を提出してください。

本学において申請された配慮事項について検討し、「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」を第1回申請期限内に提出された場合は、令和4年1月中旬に結果を郵送いたします。第1回申請期限を越えて第2回申請期限内に提出された場合は、試験日の約2週間前に郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認し同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには1～2週間を要します。合理的配慮の内容によっては対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書提出をお願いいたします。

- (1) 第1回申請期限 令和3年12月24日(金) 17:00まで
第2回申請期限 令和4年1月21日(金) 17:00まで

(2) 申請方法

本学指定の様式「受験時における合理的配慮申請書」を本学ホームページよりダウンロードし、**障がい学生支援室**へ郵送で提出してください。

必要に応じて、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る学校担当者等との面談・聞き取りを事前に行います。

また、上記以外で疾病・負傷等により、受験時に特別な配慮を必要とする者も、本学障がい学生支援室に電話・FAX又はメールでご相談ください。

連絡先：琉球大学障がい学生支援室 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電話 098-895-8750 FAX 098-895-8791 E-mail g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp
--

1 5. 受験に関する注意事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、**次の方は受験できませんので、追試験の受験申請を行ってください。**（「19. 追試験について」を参照）

- ① 新型コロナウイルス感染症等（学校保健安全法施行規則第18条で定める感染症）（新型コロナウイルス感染症以外も対象とする）に罹患し、試験日までに入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 試験日2週間以内に保健所等から濃厚接触者に該当するとされ、発熱・咳等の症状がある者
- ③ 試験当日、第1試験科目の解答開始前までに発熱（37.5度以上）・咳等の症状があり、新型コロナウイルス感染症の罹患が疑われる者

(2) 新型コロナウイルス感染症対策のため、**次の方は、必ず事前に下記相談窓口にご相談ください。**

相談窓口 学生部入試課 TEL: 098-895-8141, 8158, 8018

- ① 発熱・咳等の症状がある者
- ② 無症状の濃厚接触者
- ③ 何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合

※マスク着用が困難であることを試験当日に申し出た場合は、マスクを着用せず受験することはできません。

予め障がい学生支援室へ受験上の配慮申請を行ってください。

(3) **試験当日は、各自昼食を持参し、自席で食事をとってください。**昼食後のゴミ等は、自宅まで持ち帰ってください。試験会場内では廃棄できません。学食や売店の営業や、昼食用の控室等の設置はありません。

- (4) 試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。試験当日は、各自で検温等の体調確認を行い発熱がないことを確認してください。また、感染防止のため、昼食時を除き、不織布マスク（鼻と口の両方を確実に覆うこと）を必ず着用してください。フェイスシールド又はマウスシールドの着用のみでは、受験することはできません。
当日持参したマスクは、自宅まで持ち帰ってください。試験会場内では廃棄できません。また、飛沫飛散防止のため、休憩時間や昼食時を含め、他者との接触や会話は極力控えてください。そのうえで、こまめに手指のアルコール消毒を行ってください。なお、過敏症等によりアルコール消毒が難しい場合は、手洗いをこまめに行ってください。
- (5) 個別学力検査等の日程・試験場は、学部・学科等により異なるので、注意してください。
- (6) 試験場は、学部ごとに散在していますので、事前に下見をしておくことをお勧めします。
各試験場の試験室配置図（実技検査、面接集合場所を含む）及び注意事項は、「8. 個別学力検査等の試験日時及び試験場」欄を確認してください（下見を行う場合は、不織布マスク（鼻と口の両方を確実に覆うこと）を必ず着用し、他者との接触・接近や会話は極力控えてください）。
- (7) 試験当日は、試験開始時刻の30分前までに、面接（口頭試問、実技を含む）においては集合時刻までに各試験場へ到着してください。なお、試験室への入室は監督者の指示に従ってください。
- (8) 試験室へ入室し、座席に着いたとき、琉球大学受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。
- (9) 試験開始時刻（面接（口頭試問、実技を含む）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (10) 試験室には、必ず本学の受験票及び共通テストの受験票を携帯し、監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。万一忘れた場合は、当該試験場に設置されている試験場本部に申し出てください。
なお、共通テストの受験票は、入学手続の際に必要ですので、大切に保管してください。
- (11) 試験室の机上には、本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票、時計（時計機能だけのもの）及び筆記用具「鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）」のみを置いてください。それ以外の所持品は、監督者の指示に従ってください。
- (12) 問題冊子は、試験開始の合図があるまでは絶対に開かないでください。
- (13) 解答用紙には、受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は、無効とすることがあります。
- (14) 理科の選択科目（個別学力検査）は、必ずインターネット出願時に選択した科目を受験しなければなりません。届け出た科目以外の科目を受験した場合は、無効となります。
- (15) 試験時間中に不正行為をしたり、あるいは解答用紙を試験室外に持ち出した場合は、無効となります。
- (16) 試験時間中は、試験室からの退室は認めません。ただし、用便、身体の不調又は質問等がある場合は、挙手をして、監督者の指示に従ってください。
- (17) 解答用紙は、解答の如何にかかわらず、必ず提出してください。「数学」以外の問題冊子は持ち帰ってください。
- (18) 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、腕時計型端末等の音の出る機器は必ず試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。
- (19) 耳せんは、監督者の指示等が聞き取れないことがあるので、使用を認めません。
- (20) 試験当日は、原則として各試験場内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止します。
- (21) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は、十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。

(22) 不正行為について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。

- ① 出願確認票，受験票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願登録時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入する等）をすること。
- ② 「解答はじめ」の指示の前に，問題冊子を開いたり，解答を始めること。
- ③ カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ④ 他の受験者に答えを教えたり，カンニングの手助けをすること。
- ⑤ 試験時間中に，問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑦ 試験時間中（面接（口頭試問，実技を含む）時間及び面接（口頭試問，実技を含む）待機時間を含む）に，携帯電話やスマートフォン，腕時計型端末，電子辞書，ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。（ただし，緊急の連絡が必要な場合は，試験監督者等に申し出ること）
- ⑧ 試験時間中に，使用を認められていない定規，コンパス，電卓等の補助具を使用すること。
- ⑨ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いも，上記と同様です。

- ① 試験時間中に，携帯電話等の電子機器類や使用を認められていない定規，コンパス，電卓等の補助具をかばん等にしまわず，身に付けていたり，手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすることや試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑤ 試験場において その他，試験の公平性を損なう行為をすること。

16. 合格発表

前期日程・後期日程の合格者の発表は、本人あてに合格通知書と入学手続き書類を郵送します。また、本学ホームページ (<https://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [合格発表]) にも掲載します。不合格者への通知は行いません。なお、電話による合否の問い合わせには一切応じません。

前期日程 (全学部)	令和4年3月 6日 (日) 15:00頃
後期日程 (全学部)	令和4年3月20日 (日) 15:00頃
追試験 (全学部)	令和4年3月26日 (土) 15:00頃

※いずれの日程も、合格の掲示は行いません。

17. 追加合格

令和4年3月27日(日)の入学手続き終了日において募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格候補者に対して令和4年3月28日(月)以降に、インターネット出願時に登録された「連絡先」へ電話により照会することがあります。

入学の意志について、本人(保護者等の代理は認められません)に確認しますので、本人の所在を明らかにし、連絡が取れるようにしてください。

18. 入学手続 ※詳細は、合格者に送付する「入学手続案内」でご確認ください。

(1) 入学手続期間等

- ① 前期日程
令和4年3月14日(月)～15日(火) 9:00～17:00 (必着)
- ② 後期日程
令和4年3月25日(金)～26日(土) 9:00～17:00 (必着)
- ③ 追試験
令和4年3月27日(日) 9:00～17:00 (必着)

入学手続き書類は、前期日程は令和4年3月15日(火)、後期日程は令和4年3月26日(土)、追試験は令和4年3月27日(日)のそれぞれ17:00までに必着するよう、書留郵便で提出してください。同日時までに入學手続を完了しなかった者は、入学の意志がなく入学を辞退したものとして取り扱います。

- ④ **原則として、書留郵便で発送してください。**なお、郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので、十分な時間的余裕をもって早めに発送してください。入学手続期間より早めに到着するように発送してもかまいません。
ただし、書類の確認は手続期間しか行いません。また、郵便局において手続期限までに必着することを確認してください。

(2) 提出書類(下記「本学所定の用紙」は「入学手続案内」に添付します)

- ① 誓約書(本学所定の用紙)
- ② 保護者等連絡票(本学所定の用紙)
- ③ 高等学校卒業証明書(卒業証書(写)も可とします)(高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は、当該合格証明書)
- ④ マイナンバーの記載のない「住民票の写し(記載事項の省略の無いもの)」(外国籍の者のみ)
- ⑤ 入学料納付証明書(本学所定の用紙)
- ⑥ 大学入学共通テスト受験票
- ⑦ 写真1枚(縦4cm×横3cm, 上半身・脱帽・正面向きで, 3ヵ月以内に撮影したもの)

(3) 入学料・授業料について

- ① 入学料は、銀行振込により納付してください。授業料は、原則口座振替となります。

事 項	昼 間 主 コー ス	夜 間 主 コー ス
入学料(予定額)	282,000円	141,000円
授 業 料 (予 定 額)	(半期分) 267,900円	(半期分) 133,950円
	(年 額) 535,800円	(年 額) 267,900円

- ② 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ③ 授業料の納付については、本人の申し出により、前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付することができます。
- ④ 「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は、学生部学生支援課学生援護係にお問い合わせいただくか、合格者に送付する「入学手続案内」の際にお知らせします。

(4) 入学手続にあたっての注意

- ① 「前期日程」の合格者が入学手続を完了した場合は、「後期日程」の合格者となりません。
- ② 入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできません。

19. 追試験について

新型コロナウイルス感染症に罹患した等（疑い含む）の理由により、令和4年度一般選抜（前期日程、後期日程）（以下、「本試験」とする）を受験できない者の受験機会を確保するため、追試験を実施します。追試験の詳細については、別冊「一般選抜（追試験）の詳細について」をご確認ください。

(1) 受験対象者

次のいずれかに該当し、本試験を受験できない者で追試験受験の許可を得たもの

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 新型コロナウイルス感染症と疑われる症状を呈しており、医師の治療を受けている者
- ③ 試験当日、第1試験科目の解答開始前までに発熱（37.5度以上）・咳等の症状があり、新型コロナウイルス感染症の疑いがある者

(2) 申請受付期間・申請方法

	前期日程	後期日程
申請受付期間	令和4年2月21日（月）～25日（金） 9：00～17：00 面接のみ26日（土）9：00～12：00	令和4年3月7日（月）～12日（土） 9：00～12：00
	※試験当日の申請は、当日の第1試験科目の 解答開始前までに 申請する必要があります。	
申請方法	1. 本人又は代理人が申請受付期間内に入試課へ電話連絡する。 《連絡先》琉球大学学生部入試課 電話：098-895-8141 2. 必要書類①～③を提出する。（③「医師の診断書」が遅延する場合は、①と②を先に提出する。） ※「必要書類」をメール又はFAXにより提出後、原本を速達・書留により郵送する。 3. 《提出先》琉球大学学生部入試課 E-mail：nsnsd1@acs.u-ryukyu.ac.jp FAX：098-895-8129	
必要書類	① 追試験受験申請書（所定様式） ② 本試験受験票 ③ 医師の診断書（原本）又は当該事由に関する医療機関等が発行する証明書等 ※やむを得ない事情により申請受付期間に必要書類を提出することができない場合は入試課までご連絡ください。	
申請に当たっての留意事項	① 本学の前期日程・後期日程の両方とも受験できなかった場合においては、追試験は前期日程又は後期日程いずれかの受験しかできません。 ② 追試験の受験許可の単位は、「1日分の全教科・科目等」です。本試験において、1つの教科・科目等でも受験した者は、原則として当該試験日の教科・科目は追試験の対象とはなりません。	

(3) 追試験の実施日・試験場・合格発表・入学手続き

実施日	令和4年3月22日（火）（前期日程・後期日程ともに同日実施）
試験場	追試験は本学キャンパスで行います。詳細は、令和4年3月18日（金）までに本学ホームページで公表します。
合格発表	令和4年3月26日（土）15：00頃 （本学ホームページ掲載のほか、電話連絡を行います）
入学手続き	令和4年3月27日（日）17：00（必着）

20. 個人情報の利用等について

- (1) 本学が入学選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、予めご了承ください。
- ① 入学選抜、合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。
 - ② 入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務（健康診断、入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援等）、教務関係業務（学籍管理、修学指導、成績管理等）、納付金関係業務（授業料徴収等）で利用します。
 - ③ 入学選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。
 - ④ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。
 - ⑤ 本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各学部・学科同窓会及び各学部・学科後援会及び琉球大学生生活協同組合に、氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。
- (2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）に、必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合、受託業者に対し、当該個人情報について、その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し、又はその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。
- (3) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類の不備等があることを、保護者又は出身高等学校等に通知する場合があります。
- (4) 本学が入学選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

2 1. 入試情報開示に関する事項

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

① 個別学力検査（教科・科目）

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概念や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○記述式問題においては、その記述内容に応じて、解答例にかかわらず得点・部分点を与えることがあります。 ○小説・評論等の現代文分野では、基本的な語彙力・漢字力をみるほか、設問において問われていることを正確に把握し、問題文の内容を踏まえて的確に記述・表現する力を求めます。 ○古文分野では、古典語彙や解釈、文法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求め、なおかつそれについて論述する能力をみます。（中学校教育コース教科教育専攻国語教育専修のみ） ○漢文分野では、書き下しや解釈、句法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求めます。（中学校教育コース教科教育専攻国語教育専修のみ）
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物理	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化学	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生物	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地学	<ul style="list-style-type: none"> ○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述・計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科科目以外の科目

1) 人文社会学部

(ア) 国際法政学科

調査書 (前期日程, 後期日程)	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
小論文 (後期日程)	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。

(イ) 人間社会学科

小論文 (前期日程)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 構成力等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
調査書 (前期日程)	○学業成績等を評価します。
面接 (後期日程)	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。なお, 調査書も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し, 面接の参考資料とします。

(ウ) 琉球アジア文化学科

小論文 (前期日程)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
面接 (前期日程)	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
調査書 (前期日程)	○「学習成績の状況」を点数化します。
口頭試問 (後期日程)	○論理的思考力, 積極性, 表現力等を評価します。

2) 国際地域創造学部

小論文 (前期日程は論理的思考系のみ)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
調査書 (前期日程, 後期日程)	○「学習成績の状況(評定平均値)」を点数化するだけでなく, 「総合的な学習の時間の内容・評価」, 「特別活動の記録」, 「指導上参考となる諸事項」等を本学部のアドミッション・ポリシーに照らし点数化します。

3) 教育学部

学校教育教員養成課程

小学校教育コース	学校教育専攻	小論文	○教育や子どもに関する知識・理解をみます。 ○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。 ○小学校教育に対する意欲・関心をみます。
		面接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
		調査書	○面接時の参考にします。
		志願理由書	○面接時の参考にします。
	教科教育専攻	面接	○小学校教育や教科に対する意欲・関心・適性をみます。 ○個人面接または集団面接により, 思考力・判断力・表現力を評価します。
		調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化します。

中学校 教育 コース	教科 教育 専攻	国語教育 専修	面 接	○中学校または高校の国語教員としての意欲，目的意識，適性および表現力等を評価します。
			調 査 書	○面接時の参考にします。
		社会科 教育専修	小 論 文	○資料等の読解力・分析力，および設問の趣旨をふまえて論述する構想力・表現力について評価します。
			面 接	○目的意識，学習意欲，適性，表現力等を評価します。
			調 査 書	○面接時の参考にします。
			数学教育 専修	面 接
		調 査 書		○面接時の参考にします。
		理科教育 専修	面 接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
			調 査 書	○面接時の参考にします。
		音楽教育 専修	実 技 検 査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみます。
			筆 記 試 験	○基礎的な楽典，用語，音楽史などの知識・理解をみます。
			口頭試問を 含む面接	○大学生活に対する熱意や目的意識の高さをみます。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみます。 ○面接態度，表現力等をみます。 ○基礎的な理論，楽典，用語，音楽史の知識・理解をみます。
			調 査 書	○「学習成績の状況」を評点化します。
		美術教育 専修	実 技 検 査	○発想力及び造形力を評価します。
			筆 記 試 験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価します。
			面 接	○受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価します。
			調 査 書	○面接時の参考にします。
		保健体育 専修	実 技 検 査	○「新体力テスト」を実施し，体力・運動能力を評価します。
			面 接	○学校教員としての資質や適性を評価します。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価します。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価します。
			調 査 書	○「学習成績の状況」を評点化します。
技術教育 専修	面 接	○技術科教師への意欲をみます。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみます。		
	調 査 書	○面接時の参考にします。		

		生活科学 教育専修	小論文	○家庭科教育への関心・意欲及び基礎的な文章力をみます。
			口頭試問を 含む面接	○家庭科教師への意欲をみます。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみます。
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
		英語教育 専修	面接	○筆記試験では測れない英語のコミュニケーション能力をみます。
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
		特別 支援 教育 コース	特別 支援 教育 専攻	特別支援 教育専修
調査書	○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映させます。			

4) 理学部

(ア) 数理科学科

調査書	○学習に対する主体性・協働的態度を，調査書の内容に基づき総合的に評価します。
-----	--

(イ) 物質地球科学科

物理系	調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
地学系	調査書	○学習に対する主体性を評価するため，評定平均値を点数化し，総合得点に加算して合算します。
	小論文 (後期日程)	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価します。

(ウ) 海洋自然科学科

化学系	調査書	○主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度，および指導上参考となる諸事項等を総合的に評価します。
生物系	調査書 (前期日程)	○主体性・協調性を総合的に評価します。
	小論文 (後期日程)	○設問に関する理解力，考察力，発想力及び表現力，主体性・協調性などを総合的に評価します。

5) 医学部

(ア) 医学科

小論文 (後期日程)	○思考力，独創性，発想力，表現力等を総合的に評価します。
面接	○適性，意欲，表現力等を総合的に評価します。
調査書	○面接等の参考にします。
志願理由書	○面接等の参考にします。

(イ) 保健学科

小論文 (後期日程)	○課題に対する理解力及び文章表現力(論理性, 独創性, 表現力等)を総合的に評価します。
面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
調査書	○面接の参考にします。
志願理由書	○面接の参考にします。

6) 工学部工学科

調査書	○評定平均値を点数化します。
-----	----------------

7) 農学部

亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースは後期日程なし)

調査書	<p>○「学習成績の状況」を評価し, 「総合的な学習の時間の内容・評価」, 「特別活動の記録」, 「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。</p> <p>○調査書が提出できない場合は, 代替として提出された資料に加え, 大学入学共通テストおよび個別学力検査(教科)の結果を参考に, これまでの学習成績の状況の評価します(前期日程)。</p> <p>○調査書が提出できない場合は, 「口頭試問を含む面接」の際に代替として提出された資料を参考としながら, これまでの学習成績の状況の評価します(後期日程)。</p>
口頭試問を含む面接 (後期日程)	○学びたい分野や意欲, 将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また, 農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目)等に関する質問を通し, 農学についての理解度や関心の程度を評価します。

(2) 合否判定基準

① 全学部の基本的な基準

- 共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点（本募集要項に記載された配点に基づく総合得点）により，上位から順次合格者とします。
- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は0点の者については，不合格とします。

② 学部ごとの基準

1) 人文社会学部（学部共通）

- 総合得点が高点の場合は，次の順序に従って順位付けを行います。
 1. 共通テストの得点上位者
 2. 上記が高点の場合は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，全員合格とします。

2) 国際地域創造学部

- 同点者の順位決定は，共通テストの外国語の得点で判定します。

3) 教育学部（学部共通）

- 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。

4) 理学部

(ア) 数理科学科

- 同点者の順位決定は，個別学力検査の数学の得点，次に共通テストの数学の得点で判定します。

(イ) 物質地球科学科

物理系	前期日程	○同点者の順位決定は，換算前の個別学力検査の物理の得点，次に換算前の共通テストの理科の得点で判定します。
	後期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の得点で判定します。
地学系	前期日程	○同点者の順位決定は，共通テスト及び個別学力検査の理科の合計点で判定します。
	後期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。

(ウ) 海洋自然科学科

化学系	前期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
	後期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
生物系	前期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
	後期日程	○共通テストの成績，小論文を総合的に判定します。 ○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。

5) 医学部

(ア) 医学科

○合格ラインに同点者がいる場合には、次の順序に従って順位を付して合格者とします。

- ①個別学力検査等の高得点者
- ②共通テストの外国語の高得点者
- ③共通テストの数学の高得点者
- ④共通テストの理科の高得点者
- ⑤面接の高得点者

(イ) 保健学科

○合格ライン上に同点者がいる場合は、次の順序に従って合格者を決めます。

- ①個別学力検査等の高得点者
- ②共通テストの英語の高得点者

6) 工学部工学科

○総合得点が同点の場合は、共通テストの得点に基づき順位付けを行います。その結果、同点の場合は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。

7) 農学部

(ア) 前期日程 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)

○共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。

○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。

1. 共通テストの得点上位者
2. 調査書の得点上位者

(イ) 後期日程 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

○共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。

○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。

1. 共通テストの得点上位者
2. 口頭試問を含む面接の得点上位者

(3) 入学試験問題等の公表

本学個別学力検査等の試験問題については、当該試験終了後、報道機関に提供します。また、著作権法に抵触しない試験問題等については、令和4年5月頃に本学ホームページ

(入試データ<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/>)に掲載します。

(4) 合格者の成績（合格者の最高点・最低点・平均点）

合格者の成績（大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点の最高点、最低点、平均点）を令和4年5月に本学ホームページ（入試データ<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/>）に掲載します。ただし、合格者が少数の学科等並びに追試験については、公表しない場合があります。

(5) 入学試験成績開示

令和4（2022）年度入学者選抜に係る個人成績をインターネット出願システムで成績開示を希望した方に開示します。出願期間後に開示請求登録を行うことはできませんので、注意してください。

① 開示請求者	成績開示希望者（受験者本人）。代理人請求は認めません。
② 開示内容	ア 大学入学共通テストの科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目の配点換算後の得点） イ 個別学力検査等の得点 ウ アとイの総合得点及び順位
③ 申請方法 出願手続き時に同時申請	インターネット出願時に個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。
④ 開示期間	令和4年5月13日（金）0時から5月31日（火）17時 ※ 開示期間外は閲覧できません。
⑤ 開示手数料	1選抜毎に500円を徴収します。 入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。
⑥ 開示方法	大学ホームページ（入試情報サイト）個人成績開示システムより開示します。以下のURLからご確認ください。 https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/ 「受験番号」，「生年月日」，インターネット出願時の「整理番号」を入力のうえ閲覧できます。 ※成績開示までの間、「受験番号」インターネット出願時の「整理番号」の管理にはご注意ください。

(6) 入試過去問題の使用について

琉球大学は、令和4（2022）年度入学者選抜試験より、「入試過去問題活用宣言」に参加します。

① 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

② 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験問題の公表とともに、受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

③ 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページで公表しています。

(<http://www.nyushikakomon.jp/>)

◎参考情報

○ ノートパソコン等の必携化について

琉球大学では、高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を育成すること、情報通信技術を活用し様々な授業方法やメディアを利用した教育を実践すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、令和4年度入学生から、ノートパソコン等を必携とすることになっています。ノートパソコン等の性能などについては、琉球大学ホームページに掲載しておりますので、必ずご確認ください。

なお、条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。

(<https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/>)

○ 学生寮（千原寮）への入寮申し込みについて

学生寮（千原寮）への入寮を希望する者は、「令和4年度琉球大学千原（せんばる）寮入寮者募集案内（新入生用）」（以下「入寮者募集案内」という。）を次の要領で請求し、所定の入寮申請期間内に申請書類等を提出してください。

詳細については、「入寮者募集案内」をご覧ください。

(1) 「入寮者募集案内（令和4年1月初旬発行予定）」の請求方法

- ① 学寮事務室（寮務係）で直接受け取ることができます。
- ② 琉球大学ホームページから入寮願等の各用紙をダウンロードして使用できます。
【<https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/support/>→ [学生生活支援情報] → [学生寮]】
- ③ 郵便による場合は、返信用封筒（角形2号の封筒に、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の切手（普通郵便）又は510円分の切手（速達郵便）を貼付したもの）を同封して請求してください。

請求先 〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原59番地

国立大学法人 琉球大学学生部学生支援課 寮務係（学寮事務室）

電話 098-895-8101・8133

(2) 入寮申請期間

令和4年2月15日（火）～2月24日（木）（必着）

※希望者は、期日指定郵便を活用するなど、申請・提出を忘れないようにしてください。

※申請は、上記（1）③「学寮事務室宛」の住所へ送付ください。

(3) 募集人員等

学生寮（千原寮）の改修計画実施に伴い、募集を制限する場合があります。

詳細については、上記（1）③寮務係（学寮事務室）へ照会ください。

○ 琉球大学生生活協同組合（消費生活協同組合法に基づく団体）によるお知らせ

琉球大学生協では、入学試験及び入学準備に伴う各種支援（教科書教材、学習教材、食生活、アパートマンション等の紹介）を行っており、生協の資料を希望する入学志願者には、各種資料を送付しております。各種資料に関する請求は以下の方法により申請してください。

(1) 本学のインターネット出願時に資料請求する。

インターネット出願時に資料請求するインターネット出願システムの「個人情報入力」の「大学生協への情報提供確認」において「資料送付を希望します」を選択してください。

(2) 琉球大学生協のホームページから資料請求する

URL、二次元バーコードより資料請求が可能です。ホームページでは資料請求以外にも生協の加入手続き方法、パソコン等の学習教材、受験フライトパック等についてもご紹介しております。なお、受験フライトパックは一般選抜（前期・後期）のみの紹介となります。

【URL】 <https://kyushu.seikyuu.ne.jp/ryudai-coop/newlife/>

<二次元バーコード>

(3) 電話で資料請求する

下記までお問い合わせください。

琉球大学生生活協同組合 本部 電話 098-895-2620

(9:00～17:00) 土日祝日を除く



出 願 書 類 等 一 覧

	書類の種別	対象者
高等学校等から取り寄せる書類		
1	調査書	全員
2	住民票の写し	外国籍の者のみ
インターネット出願サイトから印刷する書類		
3	出願確認票	全員
4	宛名ラベル	全員
本学様式指定の書類		
5	実技動画提出に関する誓約書 ※実技動画と一緒に提出 ※宛名ラベル（実技動画提出）を指定の提出物郵送用の封筒（角形2号）に貼り付けること。	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修のみ
6	実技検査に係る動画提出申請書 ※実技動画と一緒に提出 ※宛名ラベル（実技動画提出）を指定の提出物郵送用の封筒（角形2号）に貼り付けること。	2月16日（水）17:00（必着） ※消印有効ではありません。
7	競技歴調査書	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修のみ
8	志願理由書	教育学部（小学校教育コース学校教育専攻），医学部（医学科，保健学科）のみ

出 願 書 類 等 の 記 入 上 の 注 意

※記入に当たっては、本募集要項を熟読し、以下の事項に注意して記入してください。

1. 記入は黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用してください。
2. 通称・略字等は使用せず、漢字は楷書で、数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入してください。
3. 記入不備がある場合は、受理しないので注意してください。
4. 「※印の欄」（受験番号欄，出欠欄等）は記入しないでください。